

高1 英語・世界史融合授業 ～プレゼンテーション編～

今日は、先日ご紹介いたしました高校1年生の英語と世界史の融合授業のその後の様子をご紹介します。前回の授業では「アメリカの移民」を題材に英語教員と世界史教員による講義が行われましたが、その後生徒たちはグループに分かれて与えられたテーマについて調べ、プレゼンテーションの準備を行いました。プレゼンのテーマは「アイルランドからの移民」「中国からの移民」などに分かれており、生徒たちはグループのメンバーと協力して準備に取り組みしました。

今回のプレゼンの大きな特徴として、生徒たちが英語でプレゼンテーションを行った点が挙げられます。生徒たちは事前にしっかりと内容を調べてきただけでなく、その内容を英語で発表できるように準備も行って授業に臨みました。

また、英語のグレードや帰国生・一般生の別なくグループが組まれた点も特筆できると思います。グループの中には英語が得意な帰国生もいれば、英語が苦手な一般生もいます。しかしグループの中で上手く役割分担を行うなど、各自が自分に出来る力を活かしてグループに貢献している姿が印象的でした。

生徒たちは「移民の特徴」や「移民によってもたらされたもの」などを発表してくれましたが、プレゼンを聞いている教員側も知らないような内容を調べていたグループもあり、生徒たちの調べる力・発表する力・協力する力の成長ぶりにとても驚かされました。



(プレゼンテーションの様子)